

人権だより

2020.2

大洲高校人権委員会



1月24日実施のホームルーム活動について、人権委員の人の感想を一部紹介します。1年生は「部落差別の起こり」をテーマに、中世から近世の歴史学習をしました。2年生は「戦後の解放運動」を中心に学び、4回ある歴史学習の結びにしました。



1-1
 近世になると幕府が身分を固定化したことによって差別がより一層大きくなり、他の人よりもつらい役をさせられ、すごくひどい差別だと思いました。今回学んだ差別の歴史を通して、今何を考え、何をすべきか、差別に向き合っていくかといけなくて改めて感じました。



1-2
 中世の差別は、神に奉仕する芸能や、庭園造りなどの職業の人への「畏敬・畏怖」の気持ちが始まりだと考えられていることを学びました。近世の差別は、身分が確立された政治的差別であったことを学びました。これからもしっかり学びたいと思いました。



1-3
 差別の起こりについて、知らなかった多くの知識を得ることができた。このような機会にもっと知識を広げていき、積極的に同和問題を解決していきたい。聞こえただけでもつらい気持ちになることを忘れず、日常で必ず賤称語などは使わない。



1-4
 中世初期は、特別な職能につく人に畏敬の気持ちを持っていたのに対し、軽蔑・侮蔑の感情に変わったものを、近世で幕府が利用し仕組みの一部にしてしまいました。差別が起こったきっかけは人を見下す気持ちではなかったことを学びました。



1-5
 歴史について今回学び、不合理な差別に対して、それを不合理な差別に対して差別された人々が立ち上がり、正当な権利を求めたことを知りました。今までモヤモヤしていた部落問題に対する考え方が整理でき、この先も関心を持ち続けたいと思いました。



2-1
 差別によって学校に行けず、字の読み書きができず、歳をとってから学んだ人もいます。北代色さんの「夕やけがうつくしい」の文章を通して学習しました。「なぜ、歴史学習をするのか？人間の鈍感に気づくため、私が字を何に使うか考えるためだと思いました。」



2-2
 教育を受ける権利が与えられていなかったことに、理不尽さを感じました。今、私たちは教育を受ける権利も、自由に食料を摂取できる権利もあります。今回の人権・同和教育で、改めて人権が平等に与えられていることに有り難さを感じました。



2-3
 「私の歩んだ道」や「夕やけがうつくしい」の教材から、識字について学び、私たちが文字を読めることは当たり前ではないと感じました。差別が奪うものは数え切れないほどあり、それが人の人生を狂わせることも今回学ぶことができ、これからも差別をなくすための意識を持たないといけないと感じました。



2-4
 部落差別は減ってきており、日常生活ではあまり意識しないけれど、ふとした時に現れてきます。根絶するための正しい知識を、みんな真剣に学ぶことができている。自分自身、さらに詳しく学ぶことができよかったです。



2-5
 被差別部落の親たちが、教科書が無償化にするための運動を行っていたということを知った。識字学級については、差別や貧困のために学校に通うことができず、文字を学ぶことができなかった人がいるということを知った。

第27回 人権集会



2月7日は保護者や地域の方にも来校いただき、人権集会を開催しました。人権作文発表や「地域フォーラム」・「全国高校生集会」への参加報告、「聞き取り学習」の報告がありました。感想の一部を紹介します。

○ **ひどい歴史と差別(部落差別)を知った上で差別をせず、闘っていくのが私たちのしなければならぬことだ。**

■ **同和地区の人だからといって差別するのはいけませんが、そこをあえて触れないで突き離してしまうのはもっといけないと思いました。**

◆ **社会を変えていかないと変わらないことは多いと思うけど、一人が変わればその影響でまた一人変わるかもしれない。そうするために自分が動きたいと思います。**

□ **“人の命の尊厳”について考えることができました。同級生がこのようなテーマについて考えていることに感銘を受けました。**

● **人権問題を解決するために悪い人を探すのではなく、全員が平等な立場で意見を出し合っ**
て考えていくべきです。

▽ **いじめはどんな理由があってもしてはいけないし、許されない行為だと思いました。決して傍観者にならず、注意できる人になりたい。**

◆ **差別をなくすために活動に参加していこうと思っています。見て見ぬふりのような行動ではなく、自分のこととしてもっと考えていきたいです。**

△ **無関係だと考えてきたこの問題と向き合うこと、目とそらさないこと、そして行動していくことだと思いました。**

○ **自分の考え方が正しいと思ひ込みすぎていると、周りの正しい意見に気付くことができ**
ません。固定概念にとらわれず、もっと客観的に見るのが大切だと思いました。

▶ **差別をしている社会や人たちが悪いのであって、差別を受けている人は何も悪くありません。差別をしている社会というのは私たちも含まれていて他人事ではないと思いました。**

□ **みんなが目を向けることで社会全体が変わると思います。無関心が一番悲しく、悪いことです。**

◇ **自分も偏見を持ってしまうことはあります。…集会でもあったように、悩んでいる人に「君は一人じゃないよ」と声を掛けられるような人になりたいです。**

コラム

おおよそ1年前のCMだけど

まずは3年生、もうすぐ卒業、おめでとうございます。

1年くらい前に「ある車のCM」を見て「うん」と思ったことがありました。

合理的	流行	もっともらしいことなんて くだらなくないか
他人の目		世の中の評価を気にする道なんて
		あなたは あなたを 走れ
		Believe your INSIGHT.



合理的なことが悪いことばかりとは思はないけど

世の中の評価を気にしない人もあまりいないことない…



人に何か言われると気になるよね

言われてるような気がして、気になることもある



他人の目…悪いことではないけど…

気にしすぎると、生きづらくなるよね



う～ん、自分のいいと思うことをしていきたいかな



話は少し変わりますが、『赤信号みんなで渡れば怖くない』というコトが昔ありました。「みんながするから大丈夫だ」そんな心理を突いているようです。「取り残されると不安になる」ってついていくことも。この心理が差別につながることもあります。**自由な心で正しく判断し行動する自分になりたいなら**。3年生のみなさん、卒業しても人権についても考え続けていくことが大切かも。